

第9回 小牧市まちづくり推進計画審議会 議事録

日 時	令和元年12月6日(金) 14時00分～15時00分	
場 所	小牧市役所本庁舎 6階601会議室	
出席者	<p><b>【委員】(名簿順)</b></p> <p>稲垣 喜久治 小牧市社会福祉協議会 会長          倉知 日出美 小牧市女性の会 副会長          小柳 松夫 小牧市区長会 連合副会長          佐藤 君治 小牧青年会議所 理事長          秦野 利基 小牧市民活動ネットワーク 代表理事          伊藤 博美 椙山女学園大学 教授          柴田 謙治 金城学院大学 教授          代田 義勝 長崎県立大学 教授          長江 美津子 名古屋経済大学 特任教授          宮脇 淳 北海道大学 教授          市川 紀六 一般公募者          一戸 貢 一般公募者          伊藤 淳子 一般公募者          関谷 政夫 一般公募者          坂東 益子 一般公募者          舟橋 精一 一般公募者</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>石川 徹 市長公室次長          入江 慎介 地域協働担当次長          長尾 正人 総務部次長          竹内 隆正 地域活性化営業部次長          林 浩之 市民生活部次長          伊藤 俊幸 健康福祉部次長          櫻井 克匡 こども未来部次長          前田多賀彦 建設部次長          鵜飼 達市 都市政策部次長          梶田 達人 上下水道部次長          松浦 智明 市民病院事務局次長          高木 大作 教育委員会事務局次長          松永 祥司 教育委員会事務局次長          高橋 博之 副消防長          伊神 彰 消防署長          船橋 嘉成 会計管理者          小塚 智也 市長公室長          駒瀬 勝利 市長公室 秘書政策課長          舟橋 朋昭 市長公室 行政経営課主幹          安藤 誠 市長公室 秘書政策課市政戦略係長</p>	
欠席者	<p>井戸 茂治 小牧市小中学校 PTA 連絡協議会元味岡中学校 PTA 会長          鈴木 義久 小牧商工会議所 副会頭</p>	

	水谷 幸一 連合愛知尾張中地域協議会 副事務局長 加藤 武志 中京大学 講師
傍 聴 者	13 名
配付資料	小牧市まちづくり推進計画（案）

## 内容

### 1. 開会

#### 【秘書政策課長】

定刻となりましたので、ただいまより、第9回小牧市まちづくり推進計画審議会を開催いたします。委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただき、まことにありがとうございます。本日の議題につきましては、お手元の次第のとおりであります。これまで8回の審議会におきまして、多くのご意見を頂きました。本日は、これまでにご了解いただいております分野別計画編、自治体経営編も含め、パブリックコメントに諮る案について確認をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。それでは、次第に基づき、進めさせていただきます。

### 2 市民憲章唱和

### 3 会長挨拶

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。事務局からもご紹介がありましたが、本日は今まで委員の皆様にご尽力いただきました計画案につきまして、現段階のものを確認していただきたいと思っております。のちほど事務局から説明があるかと思いますが、このあとパブリックコメントにかけるということで、その案について皆様にご確認いただくのが本日の目的であります。今日で計画案を決めるということではなく、パブリックコメントからの意見、あるいは今、議会の皆様にもご意見を伺っているという段階ですので、大変恐縮ですが、1月下旬にも、もう一度お集まりいただきまして、それらご意見を踏まえながら、最終的に審議会として確認、了承を得ていきたいと考えています。本日は計画案全体を見ていくことからお手元の資料もボリュームがありますが、今日初めて議論するわけではございませんので、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。

### 4 議事

#### 【秘書政策課長】

ありがとうございました。それでは、次第4議事に入りますが、これからの進行につきましては、宮脇会長にお願いします。

#### 【宮脇会長】

それでは、ここからは、私が進行させていただきます。次第4の議事ですが、まちづくり推進計画案について、事務局からの説明をお願いします。

#### 【秘書政策課長】

それでは、本日配布させていただきました、審議会資料について順に説明をさせていただきます。

まずはじめに、「審議会委員からの意見と市の考え方（回答）」をご覧ください。こちらは、先週の審議会後、委員の皆様より寄せられたご意見と、それに対する市の考え方をまとめたものであります。時間の都合もありますので概要を説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは1ページをご覧ください。1では基準値についてご意見を頂きました。市の考え方としましては、指標の数値をどのように把握した数値なのかわかるように、資料編として「指標の説明」を掲載する予定であり、あわせて、各年度ごとの状況について、各指標をすべて取りまとめ、進捗状況などを公表していくことで市民の皆様にご理解を頂きたいと考えております。

2では若年世代の転出超過についてご意見を頂きました。市としては、定住促進は市の最重要課題と認識しており、第1章都市ヴィジョンの冒頭で3つの都市ヴィジョンを基軸に掲げ、「若年世代の定住促進」を図っていくとさせていただいております。特に都市ヴィジョン1「こども夢・チャレンジNo.1都市」、都市ヴィジョン3「魅力・活力創造都市」を中心に、若い世代の方々が住

みたい、住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えております。

3では高校生・大学生に向けた取組みについて意見を頂きました。市としましては、コマキッズドリームプロジェクトや戦略3のカフェやWi-Fiも整備された、高校生や大学生にも魅力を感じていただける「新しい図書館」そして、新産業や名産品などを通じて、高校生や大学生をはじめとした若い世代の定住促進につなげていきたいと考えております。

4では、塾などの民間の教育機関などに対するアプローチについてご意見を頂きました。市としましては、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象にした学習支援事業「駒来塾」の取組みや、国に先駆け取り組んできたICT教育を活用すれば、個々に応じた教育を行うことも可能であり、例えば模範となるような先生の授業を、その場になくても受講でき、まさに、教育の壁を大きく下げること、そして、民間の教育機関ではこれらの取組みはすでに始まっていますが、公的な教育としても是非先進的に取り組んでいきたいと考えております。

2ページをご覧ください。5では名古屋造形大学の移転や産学官連携などについて意見を頂きました。市としましては、全国的に大学の都心回帰が進んでいるなかで、非常に残念なところではありますが、先日（仮称）こども未来館デジタルコンテンツ等制作に係る連携・協力に関する協定を、近隣の3大学と締結し、それぞれの大学の持つ学術研究成果や、学生の柔軟なアイデアを活かした、魅力あるコンテンツの制作にご協力いただくこと、また、地方創生などに関して、多くの民間企業とも連携させていただいており、これからも産学官連携しながら地域づくりを進めていきたいと考えております。

6では、小牧の産業構造についてご意見を頂きました。これは、特定の産業に偏らずバランスが取れているということは、不況時の落ち込みも少なく、小牧の大きな利点でもあり、市民に知っていただけるよう今後PRを行っていききたいと考えております。

7では地域貢献活動について意見を頂きました。地域貢献活動に興味・関心がありながらも、その入り口がわからない市民の方は、少なからずお見えになり、重点事業2-3で掲げました（仮称）生涯学習・市民活動連携センターを拠点とした取組みなどにより、市民の皆様が生きがいを持って暮らせるようきっかけづくりや活性化に取り組んでまいりたいと考えております。

8では、中心市街地の訪問者数のカウントの仕方についてご意見を頂きました。本来であれば、エリア全体の訪問者数を数えるのが望ましいのですが、なかなか難しいことから、新図書館そして（仮称）こども未来館の来館者数の合計とさせていただいております。

9では、新産業振興センターに関する指標についてご意見を頂きました。数値は、決算などで把握することを予定しており、支援した結果を測る指標とする考えを記載させていただいております。

10では、名産品等のPRについてご意見を頂きました。市としては、関係団体と今後協議していく中での参考とさせていただきます。

以上10までが市政戦略編に対していただきましたご意見及び市の考え方になります。

次に、11と12は自治体経営編に関していただいたご意見になります。11は、今後の財政について市民にも共有をというご意見を頂きました。後ほど、説明をさせていただきますが、基本施策のなかで変更をさせて頂いておりますのでよろしく申し上げます。

最後に12の連結財務諸表の内訳につきましては、記載のとおりとなります。

つづきまして、計画案について説明させていただきます。お手元に、「小牧市まちづくり推進計画（案）」と書かれた資料をご用意ください。

本日は、今後予定しているパブリックコメントに諮る案ということで、改めて計画案全体をお示ししております。第7回及び第8回の審議会において委員の皆様よりいただいたご意見、また、総合教育会議をはじめとする関係会議等におけるご意見等を踏まえて、一部修正した箇所がございます。この資料は、主な修正箇所がわかるよう、見え消しの状態にしておりますので、その修正箇所を中心に説明させていただきます。なお、字句の整理など軽微な修正については、溶け込

みという形で対応していますので、あらかじめご承知おきください。

まず、表紙の裏、目次ですが、計画の構成に変更はありません。

1 ページからは計画の序章です。17 ページをご覧ください。将来人口の推計について記載しております。将来人口の推計は、第2回審議会において皆様にお配りした基礎調査報告書にもありますとおり、計画策定にあたって、本市の特性等を分析する際に推計したものであります。また、下段には人口ビジョンとの比較のグラフを掲載しております。人口ビジョンとは、平成28年3月に策定した「小牧市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、人口の将来展望をシミュレーションしたものであり、人口減少克服に向けた施策を実施しなかった場合のシナリオ1と、各施策の効果が現れた場合のシナリオ2があるところです。オレンジの今回推計した人口をご覧くださいますと、現在、各施策の効果があらわれた場合の推計よりも良い状況で推移しておりますが、2040年あたりから、目指す状況を下回ってきていることがわかります。今後も各種施策を実施し、シナリオ2の赤色の人口を上回るよう努めていかなければならないことがわかります。

次に、21 ページをご覧ください。施策の体系です。計画の構成を体系図として示しているものですので、ご確認いただければと思います。

22 ページの都市ヴィジョン、それから23 ページ以降の市政戦略編については、変更ありません。

30 ページからは、分野別計画編となります。字句の整理などは省きまして、68 ページ、教育環境の基本施策をご覧ください。展開方向1の手段三つ目ですが、第7回審議会での委員からのご指摘を踏まえ、「地域住民」という言葉を追加しております。

71 ページをご覧ください。子育て支援の展開方向2の指標の二つ目ですが、総合教育会議でのご指摘を踏まえ、「子ども会に加入しているこどもの割合」から「市子ども会連絡協議会に加入している子ども会の数」に修正しました。

79 ページをご覧ください。スポーツのまちの状態を表す指標ですが、もとの指標を市政戦略編において設定したことから代わりの指標として、「健康づくりのために、スポーツに取り組む必要があると考えている成人市民の割合」に改めました。

86 ページをご覧ください。生涯学習の展開方向3の指標の二つ目ですが、一つ目の指標と内容が重複することから削除いたしました。

95 ページをご覧ください。商工業の展開方向2の手段の二つ目ですが、第7回審議会後の委員からのご指摘を踏まえ、「商工会議所、事業者、中小企業団体、大学などと連携し、」を追加し、「補助制度の構築と活用の推進を図ります。」に修正しました。

99 ページをご覧ください。都市交通の展開方向1の指標の二つ目ですが、展開方向2の一つ目の指標と内容が重複することから削除いたしました。以上が、分野別計画編の修正箇所であります。

次に、112 ページ、自治体経営編をご覧ください。(2) の名称ですが、第8回審議会での委員からのご指摘を踏まえ、修正しております。

121 ページをご覧ください。行政運営のまちの状態を表す指標ですが、「新規採用職員試験（行政職）における応募倍率」について内部で検討し、倍率は市の募集枠や募集人数に左右されることから削除しました。また、第8回審議会での委員からのご指摘を踏まえ、「休職中の職員の割合」を削除し、新たに「市役所における育児休業取得率」そして基準値を追加しました。下の文章は基準値の出し方を記載しているものであり、冊子にした際は資料編にて記載する予定です。

125 ページをご覧ください。財政運営のまちの状態を表す指標ですが、委員からのご指摘を踏まえ、内部でも検討した結果、参考として全国順位を記載し、目指す方向としては上向きに、また、経常収支比率及び財政力指数の目指す方向はそれぞれ横ばいに改めました。

この考え方については朱書きで記載しておりますが、自治体の財政は、歳出面では幼児教育・保育の無償化や会計制度任用職員制度など、歳入面では税制改正や補助金削減など、国・県の政

策や制度設計といった外部要因の大きな影響を受けることから、このような記載に改めさせていただいたところですが、この部分については、このように変更をさせていただいておりますのでご確認を頂ければと思います。以上が、まちづくり推進計画（案）、また主な修正箇所の説明であります。よろしくお願いいたします。

**【宮脇会長】**

ありがとうございました。事務局の方から変更点や委員の皆様から事前にいただいたご意見について説明をしていただきました。パブリックコメントにかけていく計画案として確認していくためにご意見等いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

**【一戸委員】**

「意見と市の考え方」の3ページの12 財政運営についてその他のコスト 28 億円のうち、支払利息が5 億4 百万円ということだが、これは間違っていないですか。

**【総務部次長】**

この支払利息はそれぞれの会計の合計でこの額となっています。

**【一戸委員】**

財務諸表の中で、現金預金が 336 億円、これに対して地方債 342 億円となっており現金預金より多くなっています。今後の展開を非常に心配していますが、そのことについてお聞かせください。

**【総務部次長】**

地方債も今後増えていくことが懸念されますが、さまざまな財政指標を注視しながら、適切な財政運営に努めてまいりたいと考えています。

**【秦野委員】**

「意見と市の考え方」2 番目の意見について、前回の市長のお話で、転出超過に非常に危機感を持っているということでしたので、転出入に関する指標を市政戦略編のどこかに示した方がよいのではないかと思ったわけです。ここの考え方についてはよくわかるんですが、転出入に関する指標はこの計画には書かれていないので、例えば戦略3 のまちの状態を表す指標にあるとよいのではという意見です。

**【秘書政策課長】**

計画案 17 ページに将来の人口推計を記載しているほか、別にまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の中で人口減少少子化対策についてまとめており、そこで戦略として出していく予定でありますので、ご理解願いたいと思います。

**【小柳委員】**

これまでかなり議論をしてきてまとまってきたと思っています。今回の計画は、前回、会長からも発言のあったとおり、行政と市民の両輪で市政を進めるということで、私も地域で携わっていますので、全体的な方向付けとしては良いと思います。また、財政運営については、小牧市は財政状態がいいということで要求型になっていく傾向がありますが、これからはそうではなくて、地域で何ができるかということを考えていくことが重要だと考えています。

**【伊藤部会長】**

計画案 122 ページに組織横断的なプロジェクトチームの設置数と書いてありますが、一方で 127 ページには部・課長などのマネジメントとあり、ここで役職名があると非常にやりやすくなるのではと思うので、考えていただければと思います。

**【秘書政策課長】**

記載について検討させていただきます。

**【市川委員】**

「意見と市の考え方」6 番目、私の意見ですが、ここで言いたかったことは、産業バランスがよいということを市民に分かりやすく簡単な言葉で伝えてほしいということです。その裏には、

私は、残念ながら製造業は今後厳しいと思っているので、それを含めたうえで市民に理解できるように伝えていただきたいという気持ちで書いたということでご理解ください。

**【秦野委員】**

計画案 22 ページの都市ヴィジョンについて、3つのうち1は青少年向け、2は福祉向け、3は産業に関わるものと思います。私からは、「意見と市の考え方」3番目の大学生と5番目の産学官連携を意見として出しましたが、先日東部まちづくり戦略会議であった話として、東部地区では若者が流出しているという話がありました。これに対して産業との結びつきが重要であるという意見が多数出ておりました。特に都市ヴィジョン3はそのような重要な視点が書かれており、新産業振興センターをどう活用するかなどがあるんですが、縦割りで123を進められてしまうと若者の流出改善につながらない。例えば戦略1を教育関係の部署だけではなく産業界とどう結びつけながらやっていくかという視点が非常に大切だと思います。例えば産業振興側も、商工振興課だけではなく、教育や生涯学習など他部署との横の連携をとりながら事業の展開をしていくことが重要だと思っていますが、そのあたりはどのようにお考えでしょうか。

**【秘書政策課長】**

横の連携については、非常に重要なことですので、プロジェクトの立ち上げや戦略本部会議等を活用して他部署との連携を図りながら事業を進めていくこととしています。

**【宮脇会長】**

組織横断的なプロジェクトチームの設置数を増やしていくとあったように、横連携について充実を図っていくということについて努力していけば計画の整合は取れていくと思っています。

**【柴田委員】**

計画案 14 ページに、予算は基本計画を基礎として「調製」となっているが、漢字はこれで正しいでしょうか。

**【秘書政策課長】**

個々の記載は条例からの抜粋であり、条例ではこの漢字を使用しています。

**【一戸委員】**

計画案 26 ページ戦略2重点事業2-2健康寿命の延伸について、週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合が現状46.1%とあり、目標値が65%となっていますが、目標を高く70%くらいにあげたらどうかと思いました。また、フレイル予防事業への参加者数とありますが、現在どんなことをしているのか教えてください。

**【秘書政策課長】**

目標値の65%は、国の第2期スポーツ基本計画で掲げられている目標値を根拠としています。フレイル予防事業は、地域で行っているサロン等での各種事業を実施しており、その参加者数をカウントしています。

**【宮脇会長】**

国の目標値は65%ということだが、国の現在の数値はどれくらいでしょうか。

**【秘書政策課長】**

国の現状値としては、55.1%であり、市よりも高い数値となっています。

**【市川委員】**

国は働き方改革について強く取り組んできていますが、この計画ではどこに書いてあるのでしょうか。

**【秘書政策課長】**

計画案 122 ページをご覧ください。行政運営の中で、市役所における働き方改革について記載しています。

**【市川委員】**

市役所内だけではなく、市内の事業所、まち全体での働き方改革についてはどうですか。

**【伊藤部会長】**

計画案 77 ページの男女共同参画で、ワーク・ライフ・バランスの普及と理解促進を目標に掲げていますので、こちらに働き方改革も含めて考えていただけるとよろしいのではないかと思います。

**【伊藤部会長】**

お願いになるんですが、市政戦略編と分野別計画編の関連を見えるようにしてほしいと思います。分野別の中に重点事業に関するところ、またその逆も見えるようにすると、市民にはわかりやすいのではないかと。2章から読んでいくと3章では忘れてしまうので。

**【市川委員】**

働き方改革の記載として、男女共同参画にワーク・ライフ・バランスがあることは承知したうえで質問したんですが、ただ、このままではまなび創造館が担当業務ということで、事業所に対する取組みなどは全然進まないのではないかと心配しています。もっと、強力で推進してほしいという思いがあって質問しました。

**【宮脇会長】**

意見として承ります。当然、働き方改革としては労働基準監督署などとも連携しながら自治体としては進めていくものであり、そういうところと調整しながら進めていくところだと思います。

**【宮脇会長】**

今日はパブリックコメントにかける案についてご確認いただくということでご意見をいただきました。さきほど、伊藤部会長からあったように、市民が見たときに一覧性が分かるようにしてほしいと思います。また、一戸委員・小柳委員からご発言がありましたが、財政運営について、市側は財政状況が厳しいということを受け止めて見直しをしていただいたわけですね。こうしたことを書き込んだ計画は、私の知る限りでは全国的にも他にないと思っています。小柳委員からもあったとおり、市民の皆さんと進めていくということは、財政分野においても非常に重要なことだと思います。それを市の判断で踏み込んでいくところについては重要なことでもありますので、一委員として発言させていただきます。

それでは、パブリックコメントについては、全体像が見えるものを加えてもらい実施していただくということで、審議会として了承したということによろしいでしょうか。

**【全員】**

了承。

**【宮脇会長】**

それでは、今後、パブリックコメントの意見、あるいは議会の意見も踏まえながら、1月に審議をしていきたいと思っています。本日の議事はこれで終了ですので、事務協にお戻しします。

**【秘書政策課長】**

委員の皆様、長時間にわたりご審議ありがとうございました。

今後であります、12月16日から来年1月14日までの間にて、パブリックコメントを実施する予定です。また広報等でも周知させていただきます。あわせて、会長からもありましたが、市議会にも今の計画案をお示ししているところであり、今後、市議会からご意見もいただく予定です。パブリックコメントによる市民からのご意見、それから市議会からのご意見につきましては、1月24日に次の審議会を予定しておりますので、その中でご報告させていただき、最終的な答申もいただければと考えております。よろしくお願いたします。

これもちまして、第9回小牧市まちづくり推進計画審議会を閉会します。ありがとうございました。

以上